

みずほCustomer Desk Report 2017/10/20 号(As of 2017/10/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.93 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.02	1.1795	133.28	0.9809	1.3212	0.7842
SYD-NY High	113.14	1.1858	133.62	0.9817	1.3228	0.7884
SYD-NY Low	112.30	1.1768	132.48	0.9737	1.3126	0.7841
NY 5:00 PM	112.55	1.1853	133.40	0.9764	1.3158	0.7879
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.17/8.52		△25RR	1.008	Yen Call Over	

NY DOW	23,163.04	5.44	債券市場	日本2年債	-0.1440	▲1.6bp
NASDAQ	6,605.07	▲19.15		日本10年債	0.0670	▲0.6bp
S&P	2,562.10	0.84		米国2年債	1.5304	▲3.3bp
日経平均	21,448.52	85.47		米国5年債	1.9532	▲4.0bp
TOPIX	1,730.04	5.40		米国10年債	2.3178	▲2.9bp
シカゴ日経先物	21,370.00	▲100.00	為替市況	独10年債	0.3950	▲0.1bp
ロンドンFT	7,523.04	▲19.83		英10年債	1.2790	▲3.6bp
DAX	12,990.10	▲52.93		豪10年債	2.7640	4.0bp
ハンセン指数	28,159.09	▲552.67		USD/CNH	6.6056	▲0.0152
上海総合	3,370.17	▲11.62		ドルインデックス	93.27	▲0.10
USDJPY 3M Vol	8.59	0.13%	商品市況	CRB指数	184.071	0.08
USDJPY 6M Vol	9.21	0.10%		NY金	1,290.00	7.00
EURJPY 3M Vol	8.11	0.12%		WTI	51.29	▲0.75
EURJPY 6M Vol	9.39	0.16%		Dubai Spot	55.63	▲0.66

東京	前日海外時間の円売りの流れを引き継ぎ、東京時間オープン前に前日高値(113.05)を上抜けて113.09まで上昇。その後、本邦9月貿易収支が発表され、6,702億円の黒字(予想5,568億円の黒字)と市場予想を上回る黒字額となったものの、反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は113.02レベルでオープン。日経平均株価が前日比100円弱上昇して寄り付いたものの、113円台では相応に売り意欲があったと見られ、112円台後半まで小幅反落。その後、中国から7-9月期GDP(前年比)が発表されるも、特段サプライズなくマーケットに動意を与えるきっかけにはならず(実績:6.8%、予想:6.8%)。午後に入り、日経平均株価の上げ幅を縮小する動きを横目に、ドル円も再度112.90近辺まで下落する場面が見られたものの、東京時間の引け間際、海外勢が入ってくるタイミングで円売りの流れが強まると、高値となる113.14をつけて113.13レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は下落する展開。朝方は113.13レベルでオープン。序盤から全般的にリスクオフのトーンの中で円が買われ、ドル円はアジア時間の下値を割りこみ112.90台半ばまで下落。米金利が低下し、欧州株も軟調となる中でドル売り/円買いの流れは続き、112.48レベルでNYへ渡った。ユーロドルは朝方1.1800レベルでオープン。序盤に1.1820近辺まで上昇したものの、その後スペイン政府がカタリニャ州の自治を停止する手続きを開始するという報道を受け1.1768まで下落。しかし、その後はドル売りの流れが優勢となる中で反発し、1.1836レベルでNYへ渡った。ポンドドルは朝方1.3201レベルでオープン。序盤からポンドが売られる中でポンドドルは1.31台半ばまで緩み、英9月小売売上高が市場予想より弱い結果となると1.3126まで下落。その後はドル売りの流れを受けて反発し、1.3178レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.48レベルでオープン。朝方は海外市場のドル売りの流れを引き継ぎ112.30まで下落する中、米新規失業保険申請件数、米10月フィデリティ連銀景況指数がともに予想比良好な結果となったことを受けて112.62まで反発。続いて発表された米9月景気先行指数が予想を下回ると再度112.34まで下落するが、軟調な米株式市場が徐々に下げ幅を縮小し、VIX指数も前日と同じレベルまで低下する展開に円が徐々に売り戻され112.69まで上昇。終盤に掛けては薄い取引が続く中、「トランプ」氏が次期FRB議長の指名に関してパウエル氏寄りになっている」と報じたことから来年初以降も同じ緩和的な流れが続くとの見方にドル売りが強まり、112.42まで下落して112.55レベルでクロスした。一方、ユーロは1.1836レベルでNYオープン。朝方はフィデリティ連銀景況指数の結果を受けて1.1826まで小幅に下押しするも、米金利低下を受けたドル売りに1.1858まで反発。午後は調整から1.1827まで下落する局面があったものの、前述の次期FRB議長に関する報道を受けたドル売りに1.1858まで戻し、1.1853レベルでクロスした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月19日	8:50	日 貿易収支	9月 ¥670.2B	¥556.8B
	9:30	豪 雇用者数変化	9月 19.8K	15.0K
	11:00	中 GDP(前年比)	3Q 6.8%	6.8%
	11:00	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(前年比)	9月 10.3%/7.5%/6.6%	10.2%/7.7%/6.5%
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	9月 -0.7%/1.6%	-0.2%/2.2%
	21:30	米 フィデリティ連銀製造業指数	10月 27.9	22.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 222k	240K
	23:00	米 景気先行指数	9月 -0.2%	0.1%

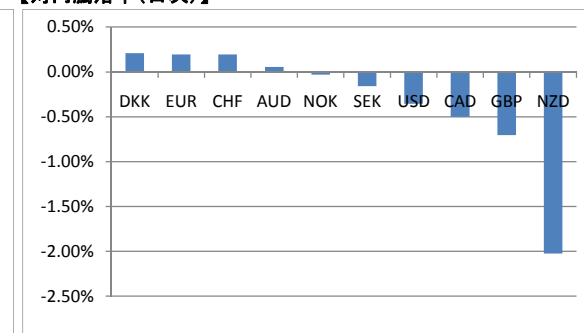
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月20日	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 5.30M	5.35M
10月21日	3:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	8:30	米 イエレンFRB議長 講演	-	-
10月22日	-	日 衆議院選挙	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.00	1.1780-1.1880	132.80-134.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は下落した。スペイン政府がカタリニャ州自治停止プロセスを開始すると報じられると、米金利の低下とともに、ドル円は急落。米10月のフィデリティ地区連銀景況指数は過去最高に達したことを受けドル円はやや回復したが、トランプ大統領がパウエルFRB理事を指名する方向に傾すると報じられ、FRBがタカ派寄りになるとの観測が後退し、米国債が買われ、ドル円も下落した。本日のドル/円相場は横這い推移を予想。今週末に控える本邦衆議院選に対する期待感から日経平均株価の堅調推移は持続するものと思われ、ドル円を下支えしそうだが、一方で地政学リスクやカタリニャ州の独立問題等が意識される等、リスク選好姿勢が強まることも期待来ず、112円半ばを中心とした推移になりそうだ。